Secure Filtering (ISGC) 初期設定手順について

Ver1.2 2024/12/10 株式会社AXSEED







本資料では、Secure Filtering(ISGC)に関する初期設定の手順について、記載します。

なお、設定手順はISGC側の仕様変更に伴い、予告なく変更される場合がありま す。予めご了承ください。





- Android 設定
 - フロー図
 - ・ Managed Configurationの設定
 - <u>アプリ配信</u>
 - <u>証明書配信</u>
 - ポリシーの作成・配信
- ・ iOS設定
 - フロー図
 - ・ <u>ManagedAppConfigurationの設定</u>
 - <u>アプリ配信</u>
 - プロファイルの作成・配信



Android設定



©AXSEED Inc. All rights reserved. 4

Y Android設定フロー図



本資料では、MDM側の設定箇所となる「Managed Configurationの設定」「アプリ配信」 「証明書配信」「ポリシー作成・配信」について記載します。 その他の設定については、ISGCのマニュアルをご参照ください。

ユーザー様専用ダウンロードサイト>端末初期設定手順>ISGC assist を利用の方 >ISGC assist 初期設定手順書(Android 版)





ISGC assist アプリをPlayストアアプリとして登録後、「アプリ設定」から 各アプリパラメータを設定します。



Managed Configuration の設定 - 手順1/6

•		
f ^π -Δ	Playストアアプリ	※Android Enterp デバイスヘインスト
• 7-+f-		ールを行います。登
	デバイスの企業用Playストアに	表示するアプリのレイアウト
	Playストアアプリ> 「アプリ登	録・削除」ホタン押ト>「ア
	「アプリの整理」を行ったら本	画面最下部の「Playストアレ
	Google社の仕様により、回期小	タンを押し (からナハイス)
	● アプリ登録・削除 複	数アプリインストール
(m) アプリ	表示件数: 100件 🔽	
·····		
アプリ管理について		アプリイ
iOS 🗸 🗸		
Android ^		
アプリケーション (配布サイト)	Samsung Smart Sv	vitch Mobile
Playストアアプリ		
インハウスアプリ登録		

①管理画面「アプリ」>Android「Playストアアプリ」>「アプリ登録・削除」



②検索画面に「ISGC assist」と入力の上、検索を行い、 検索結果に表示される「ISGC assist」を選択

ASEED

Managed Configuration の設定 - 手順2/6





Managed Configuration の設定 - 手順3/6





Managed Configuration の設定 - 手順4/6

⑤「アプリパラメータ設定」において、「設定区分」を「設定する」、「配布区分」を「個別設定」に設定の上、 【入力フォーマット出力】を選択し、CSVファイルをダウンロードする

*設定値については、ISGC管理画面ホームの「アプリインストール」 >「ISGC assist Android Managed Configurations 情報」の 内容を参照の上、CSVファイルの編集を行ってください

*「service_proxy_port」は「15123」を入力してください

アプリパラメータ設定				
設定区分	□ 設定しない ● 設定する			
配布区分	□ 一括設定			
入力フォーマット出力				
タイトル	key	入力值	型	說明
version	version	string	hidden	制約指定でサーポートしているキー種別を定義するためのバージョン
host	icaphost	string	string	サービスサーバーの木ストを指定します。
port	icapport	string	integer	サービスサーバーのポートを指定します。
group	group	string	string	アプリインストールのManaged Configurations情報の表示に沿って指定を行ってください。
account	account	string	string	任意ユーザのアカウント名を指定します。
password	password	string	string	任意ユーザのパスワードを指定します。
agreement	agreement	TRUE or FALSE	bool	サービス利用規約に同意済みかを表すフラグ
unreached_block	unreached_block	TRUE or FALSE	bool	クラウド通信不可時の動作を定義するフラグ
hide_restart	hide_restart	TRUE or FALSE	bool	再起動機能非表示フラグ
hide_log	hide_log	TRUE or FALSE	bool	ログ確認機能非表示フラグ
service_proxy_port	service_proxy_port	string	integer	内部プロキシの待ち受けポートを指定する
アプリ設定CSV ファイルを選択 選択されていません				
				OK キャンセル





*SPPM側で用意している設定項目については、以下の内容をご参照の上、

CSVへの入力を行ってください

項目	説明
処理区分	操作の有無を選択します。新規登録する場合、「1」を入力します。 追加・変更を行わないデバイスには、「0」を入力します。
tel	「電話番号」を入力します。
serial	「シリアル」を入力します。

その他詳細はSPPMオンラインマニュアルをご参照ください。



Managed Configuration の設定 - 手順6/6

⑥CSV入力後、画面左下の「アプリ設定CSV」からCSVをアップロードの上、「OK」を選択します。

アプリパラメータ設定					
設定区分	□ 設定しない ● 設定する				
配布区分	一括設定 🔳 個別設定				
入力フォーマット出力					
タイトル	key	入力値	म्य	10.00	
version	version	string	hidden	制約指定でサーボートしているキー種別を定義するためのバージョン	
host	icaphost	string	string	サービスサーバーのホストを指定します。	
port	icapport	string	integer	サービスサーバーのポートを指定します。	
group	group	string	string	アプリインストールのManaged Configurations情報の表示に沿って指定を行ってください。	
account	account	string	string	任意ユーザのアカウント名を指定します。	
password	password	string	string	任意ユーザのパスワードを指定します。	
agreement	agreement	TRUE or FALSE	bool	サービス利用規約に同意済みかを表すフラグ	
unreached_block	unreached_block	TRUE or FALSE	bool	クラウド通信不可時の動作を定義するフラグ	
hide_restart	hide_restart	TRUE or FALSE	bool	再起動機能非表示フラグ	
hide_log	hide_log	TRUE or FALSE	bool	ログ確認機能非表示フラグ	
service_proxy_port	service_proxy_port	string	integer	内部プロキシの待ち受けポートを指定する	
アプリ設定CSV	ファイルを選択 選択されていません	íu -			
				OK キャンセル	









アプリの配信 - 手順2/2

サイレントインストール	アプリのサイレントインストールを行います。 各項目を入力して、OKボタンを押してください。	
アプリ名	ISGC assist	
説明文		~
デバイス選択	 デバイス一覧から選択 CSVで指定 選択 	
適用スケジュール	● 即時適用 ○ スケジュール適用	
		OK キャンセル

②対象端末および適用スケジュールを選択の上、 「**OK**」を選択

③順次端末にアプリがインストールされます。







- ①予めISGC管理画面において、「共通アクセス管理」の 「HTTPS規制設定」を選択して、HTTPS規制設定画面に 遷移の上、「認証局設定」にある「認証局証明書の ダウンロード」をクリックし、「cacert.cer」を 保存してください。
- ②管理画面「プロファイル」>Android「証明書」>「新規登録」





基本設定 設定名*		③「設定名」を入力の上、CA証明書「する」を選択し、 保存した証明書ファイルをアップロード
証明書配布設定 CA証明書		- *保存した証明書をそのままアップロードすると、エラーが発生し、アップロードに失敗します。Windowsコマンドプロンプト等を使用し、Base64エンコード 形式に変換した証明書を登録する必要があります。
		Windowsコマンドプロンプトでの変換手順: 最も一致する検索結果 - Windowsキー>[d]キー>[o]キー>[s]キ
ユーザ証明書	 ● 「する ● しない ● デバイス一覧から選択 ○ CSVで指定 	────────────────────────────────────
デバイス選択	選択	以下のコマンドを入力して[Enter]を押下 * どちらのファイル名もフルパスで指定してください。
スケジュール設定		certutil -encode "元ファイル名" "変換後ファイル名"
適用スケジュール その他設定	● 即映道用 □ スケジュール進用	以下の通り「正常に完了しました」と表示されれば成功です。この場合はWindowsのダ ウンロードフォルダにcacert.b64.cerという証明書ファイルができます。 このファイルをアップロードしてください。
新子大		Microsoft Windows [Version 10.0.19045.5198] (c) Microsoft Corporation. All rights reserved. C:¥Users¥ax>certutil -encode "C:¥Users¥ax¥Downloads¥cacert.cer" "C:¥Users¥ax¥Downloads¥cacert.b64.cer" 入力長 = 946 出力長 = 1360 CertUtil: -encode コマンドは正常に完了しました。 C:¥Users¥ax>
	οĸ	 ④「配布対象デバイス」および「適用スケジュール」を 選択の上、「OK」を選択







①管理画面「プロファイル」>Android「ポリシー」>「新規登録」

プリセットなし」のまま、「OK」を選択





③ポリシー名を入力する。

ポリシー登録					
Android Enterprise	Android				
Android Enterprise のポリシ Wi-Fi設定以外の設定はデバイス ポリシーは「パスコード・制限 項目ごとに作成してください。 また、「WI-Fi設定」と「WI-Fi	Android Enterprise のポリシー作成をおこないます。(*がついている項目は、必須入力項目です。) Wi-Fi設定以外の設定はデバイスに1つしか適用されず、複数適用した場合には最新のポリシーが有効となります。 ポリシーは「パスコード・制限・アプリ制御」の機能制御、「Wi-Fi設定・Wi-Fi設定(証明書)」、「SIM変更検知設定」、「発着信番号制限」を混在して作成することはできないため、 項目ごとに作成してください。 また、「Wi-Fi設定」と「Wi-Fi設定(証明書)」を混在して作成することもできないため、項目ごとに作成してください。				
✓ ─般		一般			
- 123-F		ポリシー名*			
制限	П	種別*	fully managed device work profile COPE		
- アプリ制御					
Wi-Fi設定		説明			





一般	制限
パスコード	機能 アプリ
制限	ポーリング間隔時間: 60分 ▼
アプリ制御	利服メッセージ*: ご不明な点かある場合は、IT管理者にお問い合わせください。
Wi-Fi設定	 カメラを禁止
Wi-Fi設定(証明書)	 ────────────────────────────────────
SIM変更検知設定	VPMの股定変更を禁止 Bluetoothを禁止
発着信番号制限	Bluetooth設定変更を禁止
	◇ 外部ストレージを練止 デザリング&モバイルホットスポットの設定変更を禁止
	位置情報共有設定を禁止
	11/2回月報のJAX時: □ 取得9 る #X時回帰: □/2/1 ■ ● 取得しない スクリーン・キャプチャーを禁止
	■ 開発者モード(デバッグ機能)を禁止する
	開発者モードを設定する
	USBデバッグをオンにする

④「制限」の「作成」を押下の上、各項目を設定する。

⑤「制限」項目内の一番下にある「プロキシの設定を 有効にする」をチェックを入れ、

左入力欄「127.0.0.1」

右入力欄「15123」

を入力する

⑥必要情報入力後、画面右下の「設定確認」を選択⑦対象端末および適用スケジュールを選択の上、「OK」を選択

✔ プロキシの設定を有効にする	
プロキシサーバとポート	







©AXSEED Inc. All rights reserved. 20





本資料では、MDM側の設定箇所となる「Managed App Configurationの設定」「アプリ配信」 「プロファイルの作成・配信」について記載します。 その他の設定については、ISGC提供のマニュアルをご参照ください。

ユーザー様専用ダウンロードサイト>端末初期設定手順>ISGC assist を利用の方 >ISGC assist 初期設定手順書(iOS 版)



Managed App Configuration の設定 - 概要

ISGC assist アプリを Managed Apps に新規登録する際、併せて「Configuration」項目に 専用の値を設定します。

 *新規登録時のみ実施できる設定のため、Configuration 項目の設定ができていない場合、 Managed Apps への再登録が必要です



Managed App Configuration の設定 - 手順1/5



①管理画面「アプリ」>iOS「Managed Apps」>「新規登録」

②アプリ種別等、必要項目を登録する**「アプリのリモート配布」は「配布する」を選択してください



Managed App Configuration の設定 - 手順2/5



③「Configuration」を「あり」に変更し、Key と Value に値を1つずつ入力し、 都度「追加」ボタンを押下する





「ホーム」>「アプリインストール」>

「ISGC assist iOS Managed App Configuration情報」



Managed App Configuration の設定 - 手順4/5

Key	Value (値)
Кеу	Value (値)
host	
port	
group	
account	{Serial}
password	{Serial}

account と password の Value 値には、原則変数を入力します。

使用できる変数は以下の通りです。

管理画面の場所	SPPM管理画面項目	変数
デバイス> デバイスー覧>	デバイス名	{Device_Name}
)ハイス一見/ デバイス名> デバイスタブ	UDID(デバイス識別番号)	{Udid}
	シリアル	{Serial}
	IMEI	{lmei}

account と password は、それぞれ異なる変数であっても 左の画像の様に同一の変数であっても問題ありません。

*端末を識別する役割のため、値が原則変動しない {Serial} や {Imei} のご利用を推奨します。



	 デバイス一覧から選択 CSVで指定 		アプリカタログに表示	表示しない	
デバイス選択			アプリのリモート配布	配布する	
	選択		再配布	再配布しない	
適用スケジュール	□ 通常適用 ● 即時適用 □ スケジュール適用		デバイス登録時アプリ配信	デバイス登録時アプリ配信しない	
	即时週用を選択すると、配信キャンセルかできるくなります。 		配布対象	設定登録:即時適用	
		ОК			ок

④デバイスは選択せずに「OK」を押下する

⑤確認画面にて内容を確認の上、再度「OK」を 押下する



アプリの配信 - 手順1/2

■ ISGC assist なし (Anstructure)



①Managed Apps一覧画面内の
 「ISGC assist」を選択の上、画面右下にある
 「登録変更」を選択





	● デバイス一覧から選択 ── CSVで指定	
テバイス選択	選択	
適用スケジュール	 ● 通常適用 ● 即時適用 ○ スケジュール適用 通常適用を選択すると、10分後に配信され、その間配信キャンセルができます。 	
	ок	キャンセル

②対象端末および適用スケジュールを選択の上、「OK」を選択

*その他の設定については、必要に応じてご設定ください

③順次端末にアプリがインストールされます。



● 構成プロファイルの作成・配信 - 概要

ISGC assist アプリの設定にあたっては以下3種の構成プロファイル、および ISGC の認証局証明書のインストールが必要となります。

1. 端末制限構成プロファイル

2. コンテンツフィルタ構成プロファイル

3. グローバル HTTP プロキシ構成プロファイル

(証明書ペイロードに ISGC の認証局証明書を含める)

*それぞれ別のプロファイルで作成の上、1つずつプロファイル配信を 実施する必要があります







①管理画面「プロファイル」>iOS「かんたん一括設定」







②「プリセットなし」のまま、「OK」を選択

かんたん一括設定 構成プロファイ (*がついてい	構成プロファイルの簡易作成機能です。 (*がついている項目は、必須入力項目です。)			
プロファイル設定	設定確認	デバイス違択		
√ -般	一般			
	プロファイル名称*			
制限	組織名*	株式会社AXSEED		
Wi-Fi	SADO			
VPN	194103			
Web クリップ	デバイスでの プロファイル剤除* SV	許可しない		
□ 証明書	プロファイルの			
Googleアカウント	スケジュール削除*			

③「プロファイル名称」を入力する

*プロファイルを3つ作成するため、区別が付くような 名称にてご設定ください

次ページ以降でプロファイル別の操作になります





1. 端末制限構成プロファイルについて

かんたん一括設定 構成プロファイルの簡易作用	هقت چ .
ブロファイル設定 ト 233	#25 デバイス選択
✓ -#2	
א-בגזי 🗌	
制限	
Wi-Fi	
U VPN	
□ Web クリップ	
□ 証明書	
Googleアカウント	2000 英语
Exchange ActiveSync	
□ ×−ル	
=>>>>>>	
□ モバイル通信	
	917 B24BA

④操作①~③を実施の上、「制限」の項目を選択し、 画面内の「構成」を押下





1. 端末制限構成プロファイルについて

制网	艮				
	機能	アプリケーション	メディアコンテンツ		
	カメラの使用を許可 ✔ FaceTimeを許可 SV				
	 ✓ スクリーンショットと画面収録を許可 ✓ AirPlay、"クラスルーム"による画面の問題、および画面共有の許可 10512 SV 「*クラスルーム"にプロンプトなしてのAirPlayと"画面を表示"の実行を許可 SV 				
	AirDropを許可 SV iMessageを許可 SV				
	Apple Musicを許可 SV Radioを許可 SV]			
	テハイスのロック中も音声 Siriを許可 ✓ デバイスのロック中もS	yイヤルを計可 iiriを許可			
	Siriの小適切な睡聴フィルタを有効にする SV ✓ Siriにユーザ生成コンテンツを表示 SV ✓ Siriの検索候補を許可				
	Apple Booksを許可 SV Appのインストールを許可 App StoreからのAppの Appの自動ダウンロート	 <u>SV</u>)インストールを許可 <u>iOS9</u> 、 茶許可 <u>iOS9</u>	sv _		
	Appの削除を許可 SV システムAppの削除を許可	SV			
	 ▲ App ulp/2±f*i) <u>SV</u> ▲ App内課金を許可 購入時に常にiTunes Store/(スワードを要求 				
	100-100 1001 (1.100) F4-50 =1				

SEED

⑤以下の項目について、それぞれ設定を行ってください。

- スクリーンタイムを許可(監視対象のみ)
 →<u>チェックを入れない</u>
- 管理対象外出力先で管理対象ソースからの 書類を許可
 - *→<u>チェックを入れる</u>*
- 管理対象出力先で管理対象外ソースからの
 書類を許可

→<u>チェックを入れる</u>

*その他は任意の設定にて、問題ございません。

⑥設定完了後、画面右下の「設定確認へ」>「デバイス選択画面へ」を選択



1. 端末制限構成プロファイルについて

構成プロファイル登録	構成プロファイルの 登録およびデバイスへの適用 をおこないます。 各項目を入力して、OKKタンを押してください。 (+がついている項目は、必須入力項目です。)
構成プロファイル設定	
構成プロファイル*	ファイルを選択) 選択されていません 検証テスト.mobileconfig
個別設定*	 あり ● なし
	・ デバイスー覧から選択 CSVで指定 AppleIDー覧で指定(※共有iPadのみ)
アハイス選択	网络
ポリシー違反時プロファイル自動	的副
セキュリティポリシー違反検知に伴い	プロファイルを削除します。
プロファイル自動削除	□ あり ● なし
スケジュール設定	
適用スケジュール	 ・即時適用 スケジュール適用
その他設定	
メモ標	
	OK キャンセル

⑦設定は変更せず、「OK」を選択⑧続いて表示される確認画面でも「OK」を選択

*デバイスは選択しないでください。







③操作①~③を実施の上、「コンテンツフィルタ」の 項目を選択し、画面内の「構成」を押下





コンテンツフィルタ			
フィルタ・タイプ	ブラヴイン(他社製App)		
フィルタ名*			
識別子*			
サービスのアドレス			
組織			
ユーザ名			
パスワード			
証明書 証明書ペイロードを構成してください	[証明書へイロードに証明書を追加] ▼		
トラフィックフィルタ	♥ WebKtトラフィックをフィルタ ♥ ソケット・トラフィックをフィルタ		
<i>ከ</i> አቃ <u>አ</u> - -ቃ			
Per-App Web Content Filter	※アプリ時のコンテンツフィルタを利用するためには、ManagedAppsでの設定が必要となります。		

⑩以下の項目について、それぞれ設定を行ってください。

+-	値
フィルタ・タイプ	プラグイン(他社製App)
フィルタ名	任意の名称
識別子	jp.co.alsi.isgc.assist
WebKit トラフィックをフィルタ	チェックを入れる
ソケットトラフィックをフィルタ	チェックを入れない





⑪カスタムデータについて、それぞれ以下の設定を行ってください。

カスタムデータ キー(Key)	値(Value)	
SERVICE_PROXY_PORT	ISGC assist PAC配信で表示される「ローカルプロキシポート番号」で設定したポート番号を指定してください。	
SERVICE_PORT	PACサーバの待ち受けポートを指定します。定義自体の省略が可能です。省略した場合は8080です。 他アプリとのポートバッティング等が発生しない限り、変更する必要はありません。	
BYPASS_HOST_SEPARATOR	PROXY_BYPASS_HOSTにて指定するホスト名の区切り文字を指定します。定義自体の省略が可能です。 省略された場合カンマ(,)です。文字列が指定された場合は対象の文字列を区切り文字として判定します。 ※ワイルドカード(*)を含む文字列は指定しないでください。	
UNREACHED_BLOCK	通信を規制する場合はtrueを指定してください。指定すると、以下の場合に通信を規制します。 ● ISGC assistがISGCサーバへの接続に失敗したとき ● Ver. 1.1.11未満からアップデートを実施する、あるいは Ver. 1.1.11以降で新規キッティングしたあと、アプリを起 動して情報取得へ同意するまでの間、定義自体の省略が可能です。省略された場合はfalseです(通信が許可されます)。	





構成プロファイル登録	構成プロファイルの 登録およびデバイスへの適用 をおこないます。 各項目を入力して、OKボタンを押してください、 (+がついている項目は、必須入力項目です。)
構成プロファイル設定	
構成プロファイル*	ファイルを選択 選択されていません 検証テスト.mobileconfig
個別設定*	あり ● なし
二ドノフ※9	● デバイスー覧から選択 CSVで指定 AppleIDー覧で指定(※共有iPadのみ)
7777 ABI	通知
ポリシー違反時プロファイル自動	的韵印全
セキュリティポリシー違反検知に伴い	プロファイルを削除します。
プロファイル自動削除	□ あり ● なし
スケジュール設定	
適用スケジュール	 ・即時適用 スケジュール適用
その他設定	
メモ朝	
	OK キャンセル

(2)設定完了後、画面右下の「設定確認へ」>「デバイス選択画面へ」を選択
 (3)設定は変更せず、「OK」を選択
 (4)続いて表示される確認画面でも「OK」を選択

*デバイスは選択しないでください。







⑤操作①~③を実施の上、「制限」の項目を選択し、 画面内の「構成」を押下





19以下の項目について、それぞれ設定を行ってください。

グローバルHTTPプロキシ	<i>,</i>	+-	値
プロキシタイプ	手動 🔽	プロキシタイプ	自動
プロキシサーバとポート*		プロキシPACのURL	ISGC管理画面
ユーザ名			「PACファイル設定」内に 表示されるダウンロードURL
パスワード		PACが到達不能の場合に直接接続	チェックを入れない
キャプティブネットワークにアク セスするためプロキシのバイパス		を許可 	
^{を許可} キャプティブネットワークにアク セスす るためプロキシのバイパス		チェックを入れない (※)認証を用いる公衆Wi-Fiを利	
		を許可	用するケースではチェックする必 要 があります。





①予めISGC管理画面において、「共通アクセス管理」の「HTTPS規制設定」を選択して、HTTPS規制設定画面に遷移の上、「認証局設定」にある「認証局証明書のダウンロード」をクリックし、「cacert.cer」を保存してください。
 18 「証明書」の項目を選択の上、画面内の「構成」を押下
 19 保存した証明書を選択の上、「登録」を押下

*「証明書名」は登録押下後、自動で入力されます。パスワードの入力は不要です。

🔽 一般	証明書		
	証明書*		ファイルを選択 選択されていません 登録
制限	証明書名	CSV	
Wi-Fi	パスワード	CSV	
VPN			
□ Web クリップ			
✔ 証明書			





構成プロファイル登録	構成プロファイルの 登録およびデバイスへの適用 をおこないます。 各項目を入力して、OKボタンを押してください。 (*がついている項目は、必須入力項目です。)	
構成プロファイル設定		
構成プロファイル*	ファイルを選択) 選択されていません 検証テスト.mobileconfig	
個別設定*	_ あり ● なし	
デバイス選択	● デバイス一覧から選択 CSVで指定 AppleID一覧で指定(※共有iPadのみ)	
	選択	
ポリシー違反時プロファイル自動削除		
セキュリティポリシー違反検知に伴いプロファイルを削除します。		
プロファイル自動削除	□ あり ● なし	
スケジュール設定		
適用スケジュール	 ・即時適用 スケジュール適用 	
その他設定		
メモ個		
	ОК キャンセル	

20設定完了後、画面右下の「設定確認へ」>「デバイス選択画面へ」を選択
 20表示される画面で設定は変更せず、「OK」を選択
 20続いて表示される確認画面でも「OK」を選択

*デバイスは選択しないでください。



🖤 構成プロファイルの配信 - 手順1/3

【注意】

作成したプロファイルを配信する際は、必ず以下の順で配信を行ってください。 また、1つのプロファイルの配信が成功したことを必ず確認したうえで、 次のプロファイルの配信を実施してください。

1.端末制限構成プロファイルの配信指示

プロファイルの配信が成功した事を確認

2.コンテンツフィルタ構成プロファイルの配信指示

プロファイルの配信が成功した事を確認

3.グローバル HTTP プロキシ構成プロファイルの配信指示

*アンインストール時は3→2→1の順番で削除を行ってください









②対象のプロファイルを選択の上、 画面右下「登録変更」を選択

①管理画面「プロファイル」>iOS「構成プロファイル一覧」を 選択





構成プロファイル変更	構成プロファイル登録内容の <mark>変更</mark> をおこないます。 名項目を入力して、OKボタンを押してください。
構成プロファイル設定	
プロファイル名	ISGC用機能制限プロファイル
構成プロファイル	ISGC用機能制限プロファイル.mobileconfig ファイル出力 かんたんー括設定編集
個別設定	なし
デバイス選択	・デバイス-覧から選択 CSVで指定 AppleID-覧で指定(※共有iPadのみ)
	選択
ポリシー遺反時プロファイル自動削除	
セキュリティポリシー違反検知に伴いプロファイルを削除します。	
プロファイル自動削除	ສຽ . ອ ຊປ
プロファイル自動削除 スケジュール設定	
プロファイル自動削除 スケジュール設定 適用スケジュール	あり なし
プロファイル自動削除 スケジュール設定 適用スケジュール その他設定	 ○ あり ● なし ● 即時適用 ○ スケジュール適用
プロファイル自動削除 スケジュール設定 適用スケジュール その他認定 メモ欄	あり なし ・ 即時適用 スケジュール適用

③配布対象および適用スケジュールを選択の上、OKを選択 ④確認画面にて内容を確認の上、再度「OK」を押下する ⑤適宜プロファイルが配信されます

*iOS構成プロファイルは端末側で画面ロックが解除された タイミングで配信されます

*構成プロファイルは、端末への配信が完了したことを 必ず確認した上で、次のプロファイルの配信を行ってください

配信状況は以下の手順で確認可能です

管理画面「プロファイル」>iOS「構成プロファイル一覧」を選択 >該当の構成プロファイル名を選択







©AXSEED Inc. All rights reserved.